

I．講演の部



國分さんの基調講演は、環境問題と民主主義を〈哲学の観点〉から議論。熊澤の話題提供は、地域づくりの未来を考える手立てを実践をとおして見出す内容となりました。

ここでは、基調講演と話題提供の2つの講演要旨をご紹介します。

講演者紹介

1. 基調講演

國分 功一郎 (こくぶん・こういちろう)

高崎経済大学経済学部 准教授

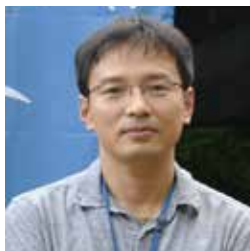


1974 年生まれ。東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。博士（学術）。主な著書に、『中動態の世界——意志と責任の考古学』（医学書院）、『近代政治哲学——自然・主権・行政』（ちくま新書）、『暇と退屈の倫理学 増補新版』（太田出版）、『来るべき民主主義——小平市都道 328 号線と近代政治哲学の諸問題』（幻冬舎新書）、『ドゥルーズの哲学原理』（岩波書店）、『スピノザの方法』（みすず書房）。

2. 話題提供

熊澤 輝一 (くまざわ・てるかず)

総合地球環境学研究所 准教授



東京工業大学大学院総合理工学研究科修了（単位取得退学）。博士（工学）。専門は環境計画論、地域情報学。主な業績に、“Initial Design Process of the Sustainability Science Ontology for Knowledge-sharing to Support Co-deliberation” (Sustainability Science, Vol.9(2), 2014)、「遺伝的アルゴリズムを用いた「身のまわりの環境」計画の合意形成過程の記述に関する基礎的研究」（『計画行政』第 26 巻第 2 号, 2003）など。